



研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	4 年生
学部／研究科	システムデザイン工学部
学科・学系／専攻	デザイン工学科
研修期間	2021 年 1 月 29 日 ～2021 年 2 月 23 日

研修先情報	
大学・機関名	QQ イングリッシュ
国名	イギリス, フィリピン

研修に参加したきっかけ	
国際学会に参加したいという意欲があり、かつ研究室においても教授より国際学会の参加を推奨されているため。	

研修参加の目的	
英語で研究発表を行うにあたって必要なフレーズを学ぶため。	

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）	
個人レッスン：頂いたテキストに沿って、自己紹介の仕方や発表の導入の仕方. 別のトピックに移行する際のフレーズや終え方などを一回 30 分の計 10 回のレッスンをを行った。 グループレッスン：個人レッスンの学習内容を踏まえながら、どのようにグラフを説明すると良いかフレーズを学ぶ。最初に Elevator Speech というフレームワークを学び、非常に短い時間で印象付けられるような自己紹介を学んだ。その後、折れ線グラフ、円グラフ、棒グラフの説明する流れ(どういうグラフか、何を示しているか、グラフから導かれる結論は何か)を踏まえながら練習を行った。最終的には総まとめとして今まで学習してきたフレーズを用いながら自身の研究をグラフを用いながら発表を行い、講師よりフィードバックを貰った。	

研修を通して得たもの	
グラフの説明に必要なフレーズや、発表の流れを把握できた。	

今後の学習計画	
今回学んだフレーズを踏まえ、基本的な文法や語彙力を学習しつつ、国際学会参加や英語の論文執筆に必要な知識を得る。	

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	4 年生
学部／研究科	工学部
学科・学系／専攻	電子システム工学科
研修期間	2021 年 2 月 1 日 ～ 2021 年 2 月 12 日

研修先情報	
大学・機関名	QQEnglish
国名	フィリピン

研修に参加したきっかけ
コロナ渦において一人で英語学習を続けるのが困難な中、国際センターよりこのプログラムを提供して頂いて、学習意欲が湧きました。特に英会話能力が低下していたと実感していた時期だったので、授業数の多い QQEnglish を選択しました。

研修参加の目的
思ったことを瞬時に英語にできる瞬発力と発音の向上に気をつけて参加しました。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
会話特化型や文法重視型といった様々なカリキュラムが設けられており、自分でカリキュラムと先生を選択できるシステムとなっていました。これらの授業はマンツーマンの授業ですが、グループレッスンもあり、他の生徒と意見を述べる英語やディスカッションの練習をしました。

研修を通して得たもの
選択した先生によって英語を話す速さやアクセントが異なっていたので、聞き取るためにリスニング力が鍛えられました。その結果、大阪なおみ選手の記者会見など、テレビで報じられる一般的な英語も字幕無しで理解できるようになりました。

今後の学習計画
今回の研修で、英語で物事を考える力が、不足していることが浮き彫りになったと思います。一人で勉強することは難しいことですが、日常生活に英語を取り入れていきたいです。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）
プログラムで提供された通話ツールにやや遅延が生じており、先生や生徒とのコミュニケーションがうまくとれなかったと思います。

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	4 年生
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	生命理工学系
研修期間	令和 3 年 2 月 1 日 ～ 令和 3 年 2 月 12 日

研修先情報	
大学・機関名	QQEnglish
国名	フィリピン

研修に参加したきっかけ	
英語力向上のため。また、2 週間ほぼ毎日授業が実施される研修に参加したことがなかったため興味がありました。	

研修参加の目的	
英語力向上のため。特にスピーキング力を鍛えることが目的で参加しました。本研修では毎日 25 分間×2 回のオンライン英会話を受講することができます。それがスピーキング力向上に役立つと考え参加しました。	

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）	
<p>研修期間は 2 週間です。月曜日～金曜日に 1 回 50 分のグループレッスン(1 グループ 2~3 人の日本人生徒と 1 人の先生)を行いました。グループレッスン回数は 2 週間で 10 回でした。講義内容は自分の意見を論理的に英語で表現できるようになることを目標としたものでした。具体的には、複数枚の写真や画像を見て(今回は絵画でした)そこで何が起きているのかを簡単に説明し、また SDGs(今回は貧困についてでした)の話題を取り上げそこにある問題について各自の意見を述べました。加えて、昨今問題になっている AI 技術の発展に対する自分の意見なども述べました。</p> <p>そして、上記のグループレッスンに加え 1 回 25 分のオンライン英会話を計 20 回受講することができました。オンライン英会話では初回の授業前に簡単なテストを実施して自分のレベルを知ることができます。そのため、自分に適した教材を選択することができ、無理のないペースで授業を進めることができました。</p>	

研修を通して得たもの	
<p>スピーキングを通してアウトプットすることが非常に大切であると感じました。</p> <p>自分の意見を述べる際に具体例を交えなければ説得力のあるものにはならないと強く感じました。</p>	

今後の学習計画	
---------	--



積極的にアウトプットすることが大切であると強く感じたのでオンライン英会話を受講することを検討しています。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

特にありません。

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	3 年生
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	理工学科 情報システムデザイン学系
研修期間	2021 年 2 月 1 日 ～ 2021 年 2 月 12 日

研修先情報	
大学・機関名	ケンブリッジ大学
国名	イギリス

研修に参加したきっかけ	
<p>友人から誘われたためです。詳細は unipa の掲示から確認しました。二年生までは授業でもネイティブの方と触れる機会がありましたが、三年生になってからはそういった授業もとっておらず、またコロナ禍ということで、実践的な英語学習の機会がなくなっていたために、今回希望させていただきました。</p>	

研修参加の目的	
<p>英語表現の幅を増やしたり、発音を鍛えたりはもちろん、ビジネスなど将来的な実用のためにも、初対面でかつ英語圏の方と英語で話す度胸をつけたいと第一に考えていました。</p>	

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）	
<p>個人レッスンに関しては、自分の能力にマッチした教材を選択でき、先生もこちらのペースに合わせてくれました。先生もこちらから選択できますが、どの先生も優しく接してくださりました。</p> <p>次に、グループレッスンについて述べます。形式としては、自分を含めた東京電機大生4人が、ケンブリッジ大学の教授一人の指導の下、アクティビティを取り組むといったものでした。大筋としては、自分の考え、意見を論理的にまとめ、述べる手法、そして他者の発表・意見に対するフィードバックの返し方を、様々なアクティビティを通して学びました。例えば、一つの絵を見てそこではどんなことが起こっているかという状況説明や、どんな感想を抱いたかななどを発信する「Visual Thinking Strategies(VTS)」, お気に入りの映画や小説などトピックに対し根拠を元にして論理的で説得力のあるプレゼンを作成する PREP(Point, Reason, Example, Point)法について学び、実践しました。</p> <p>また、「Poverty」をテーマとし、自分と他者の意見を整理するための手法の一つである Mind Map の作成にも取り組みました。</p> <p>最後の授業の Free talk では、ケンブリッジ大学について様々なことが質問できました。</p>	



研修を通して得たもの

何よりも、英語を使うことに対する自信をつけることができました。今まで、中学や高校での学習の延長線上として TOEIC などの勉強を取り組んできましたが、実際に英語圏の方々と会話し、さらに自分の持った意見を論理的に他者に発信し、フィードバックを返すといった取り組みを通すことで、英語、他言語への壁を一步抜けたように感じました。

実際、自分の意見を論理的に述べ、発信することは日本語でも難しいことだと思います。そこを英語で取り組むのはもっと難易度が高く、予習にも時間がかかりましたが、それだけの成長はあったと実感しています。

今後の学習計画

QQEnglish と提携しているスタディサプリ ENGLISH 【TOEIC® L&R TEST 対策コース】にすでに契約しているので、これからもこのコースに乗っ取って取り組みたいと考えています。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

特にありません。

以上



研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	3 年生
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	理工学科・情報システムデザイン学系
研修期間	2021 年 2 月 1 日 ～2021 年 2 月 12 日

研修先情報	
大学・機関名	
国名	

研修に参加したきっかけ
電大 UNIPA の掲示で見かけました。

研修参加の目的
TOEIC などのリスニングやリーディングの勉強をしているだけでは英会話の力は身につかないので、この機に実践的な英会話のスキルを身につけたいと思い申し込みました。また、研究で英語の論文を読む機会が多いためこの気に英語に慣れておこうと思ったこともきっかけです。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
1 回 25 分の個人レッスンを 1 日 2 回、それに加えて 50 分のグループレッスを 1 日 1 回行うと言う内容でした。

研修を通して得たもの
全ての英語が聞き取れるようになったわけではありませんが、会話の中で聞き取れなかった部分を聞き返すことができるようになりました。TOIEC などの英語のリスニング試験では全ての英語を正確に聞くことが大事ですが、英会話ではちゃんと聞き返えせることが大事だと言うことがわかりました。

今後の学習計画
DMM 英会話に登録をして 1 日 1 回のレッスンを続けていきたいと考えております。

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	3 年生
学部／研究科	理工学部
学科・学系／専攻	理工学科情報システムデザイン学系
研修期間	2021 年 2 月 1 日 ～ 2021 年 2 月 12 日

研修先情報	
大学・機関名	QQEnglish
国名	

研修に参加したきっかけ
自宅に居ながら英語力を身につける練習ができると思い参加を希望した。普段の生活では、リスニングやスピーキングの練習をすることが難しく、TOEIC などの英語試験でリスニングを特に苦手としていたのでそこを改善できないかと思ったのがこの研修に申し込んだきっかけである。

研修参加の目的
研修参加の目的は英語力の向上である。特に普段の生活では、なかなか練習することが難しい、リスニングやスピーキングの力をつけたいと思い参加した。そして、この研修を通して英語のアウトプットする回数を増やすことで、リスニングやスピーキング力だけでなく、全体的な英語力の向上に繋がりたいと考えた。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
1 日 3 コマの英会話レッスンをし、そのうち 2 コマは個人レッスン（各 25 分）、1 コマはグループレッスン（50 分）をした。 個人レッスンでは、「トピックカンバセーション」のテーマを選択し、1 週目は食べ物など身の回りのものに関する会話を教科書に沿って取り組んだ。2 週目はスポーツや映画など、身の回りのことに関する会話を教科書に沿って取り組んだ。 グループレッスンでは、論理的にスピーチする方法を英語で学び、練習問題などを通してながら映画や本のレビューなど、自分の意見を述べることに取り組んだ。また、他人の意見に対する反応の仕方についても毎回の授業を通して練習した。

研修を通して得たもの
この研修を通して得たものは、英語学習に対する意識の持ち方である。なぜなら実際に英語で会話をしてみて英語はコミュニケーションツールであるということを理解できたからである。 この研修が始まるまでは、自分の英語力に自信がなく、難しい単語や文法を使われたらど



うしようと身構えていた。しかし、実際にこの研修で日常会話やある一つのトピックについて先生と会話をしてみると、基本的に簡単な英単語しか使っていないことに気がついた。そして、私も簡単な英語でしか返答できなかったが、それでも話題について意見を共有することができ、話が盛り上がる場面もあった。拙い英語でしか話すことはできないにもかかわらず、基本の英単語や文法さえ理解していれば、コミュニケーションは成立するということを私は感じた。

ただ、簡単な英単語しか使っていないにもかかわらず、意味の理解ができないことや、瞬時に訳せない場面もよくあった。これは自分の英語の基礎が欠けていることが原因だと痛感した。だから、語彙や難しい文法を覚えることももちろん大事だけれども、基本の英文法や英単語をまずはしっかり固めて、コミュニケーションツールであるという意識を持ちながら英語学習をすることが、英語習得の近道になるのではないかと強く感じた。

今後の学習計画

引き続き参考書やスタディサプリなどの英語教材を用いながら、英語学習を継続し、TOEIC も定期的に受けていきたいと考えている。TOEIC スコアを更新できるよう頑張りたい。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

短期間で集中的に授業を受けられたことは良かったが、予習復習の時間を含めると他の予定の兼ね合いもあり、少々ハードスケジュールであったので、期間を長くして、1日2レッスン程度がちょうど良いのではないかと感じた。

以上

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	2 年生
学部／研究科	システムデザイン工学部
学科・学系／専攻	デザイン工学科
研修期間	2021 年 2 月 1 日 ～ 2021 年 2 月 12 日

研修先情報	
大学・機関名	QQ イングリッシュ
国名	フィリピン

研修に参加したきっかけ
<p>Web Class 上の掲示にて本研修が実施されることを知り申し込んだ。</p> <p>QQ イングリッシュの研修に参加したのは今回で 2 回目となる。去年の夏季休暇中に初めて QQ イングリッシュの研修に参加し、自身の英語力が伸びたのを実感した（実際、TOEIC スコアが+100 点ほど上昇している）。英語力の更なる向上を目指して、本研修への参加を希望した。</p>

研修参加の目的
<p>TOEIC スコア向上のため、自身の英語力（Reading、Listening、Reading、Writing の 4 技能）を強化する。また、グループレッスンを通じて、意見の述べ方やフィードバックの与え方など、自身のコミュニケーション能力の向上を図る。</p>

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
<p>1 日の流れとして、25 分 1 コマのマンツーマンレッスンを 2 コマ、50 分 1 コマのグループレッスンを 1 コマ受講し、翌日までにホームワークを行う。これを月～金の 2 週間、計 10 日間実施した。研修はすべてオンライン上で行われた。</p> <p>マンツーマンレッスンは、自分の好きな時間帯・講師を選択でき、また、教材も自分の目的・レベルに合わせて自由に選択できた。レッスン後には、授業内容に合わせた復習用課題が提示された。</p> <p>グループレッスンは時間帯が事前に指定されており、4 人 1 グループとしてレッスンを行った。基本的な意見の述べ方やフィードバック方法を学んでから、スピーチなどのアクティビティを通し、学んだスキルを実践し定着させた。後半では PREP 法に焦点を当て、より説得力を与えるスピーチを学習した。</p>

研修を通して得たもの
<p>マンツーマンレッスンでは、自身の基礎的な英語力をさらに伸ばすことができたと思う。特に、今回選択した“トピックカンバセーション”は様々なジャンルについて広く触れるので、語彙力を増やすのに役立った。</p>



グループレッスンでは、英語で自分の意見をどう表現するかというように、より実践的・発展的な英語力を伸ばすことができた。今回学習したスピーチ及びフィードバック方法は、今後のビジネスの場面での英会話にそのまま活かせるだろう。また、自分は元々スピーチが苦手なタイプだったので、単に英語の学習としてだけでなく、コミュニケーションスキルの学習としても大いに勉強になった。

今後の学習計画

講師との会話の中で意見を述べる際、自身の語彙力の無さを実感したので、語彙力を強化したいと思った。語彙力の強化には英語の本を読むべきとのアドバイスを講師から受けたので、今後の英語学習では単語帳だけでなく、英語の本を読むことに挑戦しようと思う。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

継続的な学習のため、今後も本研修のようなプログラムを夏季・春季に受講したい。

以上

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	2年生
学部／研究科	工学部第二部
学科・学系／専攻	情報通信工学科
研修期間	2021年2月1日 ～2021年2月12日

研修先情報	
大学・機関名	QQ English
国名	

研修に参加したきっかけ
2年生後期に履修した「英語表現Ⅱ」においてディスカッションを行ったところ、自身の意見を英語で伝えることに苦労しました。 この体験からインプットを重視した従来型の学習では対応ができないと考え、英語で発信することの必要性を感じたことがきっかけです。

研修参加の目的
QQ イングリッシュ英語講座は講師とのマンツーマンレッスンやグループレッスンが特徴であることから、英語で考えて話す機会が多く得られるだろうと考えました。 そこで自身に不足しているスピーキングや英語で発信する能力の向上を目的に、研修へ参加しました。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
スピーチを行った相手へフィードバックを行う際に、PSP アプローチを利用しました。 2つの Positive なコメントに1つの Suggestion を挿入することで、良かった点と改善できる点の両方を伝えることができ、英語での表現力を養いました。 また意見を述べる際には PREP フレームワークを利用することで、自身の主張を論理的にまとめることができ、英語での体系的な話し方を学びました。

研修を通して得たもの
SDGs の一つである”No Poverty”についてディスカッションをする際には、Mini Mind Map や Mind Map を作成することで数多くのアイデアを共有することができ、それらの有用性を理解しました。 フィリピン人教師とのレッスンでは、セブ島の観光地であるオスロブ、ダラギユテや先生の故郷について教えていただき、フィリピンに対する関心が深められました。 Free conversation では観光で行きたい国や大学での専攻など、様々なトピックについて話す経験ができ、語彙の重要性を改めて感じました。



今後の学習計画

多くのレッスンに共通していた改善点としては、単語の一部が聞き取りにくかったことが挙げられ、今後のスピーキングでは子音とイントネーションを強調したいです。強く印象に残った授業として、先生から日本の観光名所や料理について質問されたことがあります。

日本について英語で解説した経験がなかったため、言葉に詰まる場面が多々ありました。今後は **Lonely Planet Japan** などを参考に、英語でも日本に関する知識を広げたいと考えております。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

フィリピンとは対比的に、イギリスから接続された先生の授業では音声に遅延が発生しました。

米国西海岸などから接続される先生であれば、より良い環境で授業が行えるのではないのでしょうか。



研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	1 年生
学部／研究科	システムデザイン工学部
学科・学系／専攻	デザイン工学科
研修期間	2021 年 2 月 1 日 ～ 2021 年 2 月 12 日

研修先情報	
大学・機関名	QQEnglish
国名	

研修に参加したきっかけ
夏季に QQEnglish の英語研修に参加した際、英語で何かを表現する難しさと楽しさを感じ、また機会があれば受けたいと思っていた。

研修参加の目的
春期のオンライン語学留学を前に英語に慣れようと思った。

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
マンツーマンレッスンでは、主にトピックカンパセーションを受講した。そこでは、トピックに関するボキャブラリーを学んだり、トピックに関する英会話をしたりした。 グループレッスンでは、基本的なスピーチの仕方、フィードバックの仕方などを英語を用いて練習した。

研修を通して得たもの
いくつかの日常的な英会話のフレーズと英語を学ぶ意義など

今後の学習計画
毎日コツコツ英語に触れ、学習した内容を忘れないようにする。特に、簡単な英作文を作って、英語で表現することの練習をする。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）
特になし

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	1 年生
学部／研究科	未来科学部
学科・学系／専攻	ロボット・メカトロニクス学科
研修期間	2021 年 2 月 1 日 ～ 2020 年 2 月 12 日

研修先情報	
大学・機関名	QQ English
国名	フィリピン

研修に参加したきっかけ
<p>今回研修に参加したきっかけとして、私は以前より英語学習に興味があり、今回この研修を通して英語力の向上を図るために参加いたしました。</p> <p>この研修を知ったのは、unipaを確認していたところ、興味深い研修があることに気が付き参加するか迷っていました。締め切り数日前に学内 TOEIC があり、その出来次第で参加するか決めようと考え、目標としていた点数に到達することはできませんでしたが、この貴重な機会を逃したら勿体ないと思い参加いたしました。</p>
研修参加の目的
<p>今回研修に参加した目的として、英語力の向上、英語学習への関心、学部中に留学したいという夢の実現の準備があります。</p> <p>理系には英語が必須の時代となっており、将来海外で働きやすいように英語の勉強をしております。</p> <p>また、現在コロナ禍のためできませんが、学部生の中に留学したいという夢があります。この夢を実現するための初めの一步としてこの度利用させていただきました。</p> <p>各大学の英語研修も興味ありましたが、私の英語力でついていけるか不安になり、オンライン英会話スクールの QQ English を選びました。</p>

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）
<p>今回の研修では、1 日 30 分×2 コマのマンツーマンレッスンを行った後、1 時間のグループレッスンを行いました。</p> <p>マンツーマンレッスンでは、自分に合った難易度の教材を選択でき、24 時間教師の方が何人も待機していただけるため、好きな時間に、好きな先生の方とレッスンができました。私は主に SDGs Topic Conversation と Topic Conversation を受講しました。お題に合わせて語彙を学び、その語彙にあった内容の質問や会話をしました。教えてくださった先生方は英語がとても聞き取りやすく、話すスピードや質問など生徒 1 人 1 人に合わせた授業を展開してくださいました。このマンツーマンレッスンをやったおかげで瞬発的に英語を話す力が身に付きました。</p> <p>グループレッスンではケンブリッジ大学院の先生と生徒 2 人で SDGs の Poverty につ</p>



いて考えたり、好きな映画や本の紹介をしたりしました。このレッスンを通して、相手へのフィードバックの上手な仕方や、自分のアイデアを述べる際に納得させる仕方を学びました。ケンブリッジ大学院生は英語を話すペースがとても速く、聞き取れないことが何度かありましたが、丁寧に教えていただきました。

研修を通して得たもの

今回の研修を通して、スピーキングスキルが飛躍的に向上しました。今まで口語英語で自分のアイデアを発表することが苦手で苦戦していましたが、今回の研修で基礎的なスピーキングスキルが身に付きました。

マンツーマンレッスンではトピックに沿った話題を展開することができ、講師の方と充実した時間を過ごすことができました。

グループレッスンでは、SDGsの貧困問題について、発展的な会話をしました。それにより今後の世界の問題について英語で学ぶことができました。

今後の学習計画

今後は、今回の研修で得た瞬発的なスピーキング力を伸ばしていきたいと考えています。やはり、スピーキング力を身に付けるのは会話をするのが1番の近道だと実感しました。普段、英語で会話をする機会が少ないため、大学付近で英会話をしてくださる方を見つけたり、コロナ収束後に海外に旅行に行ったりしてスピーキング力を伸ばしていきたいです。

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

今回このような貴重なプログラムに参加させていただきありがとうございました。普段の授業では学べないような実践的な英語力が身に付きました。

要望といたしましては、春休みだけでなく、夏休みにも実施してくださるとモチベーションや英語力の向上につながります。

またこのようなプログラムを実施していただきましたら、積極的に参加させていただきと思います。ありがとうございました。

以上

研修参加報告書

東京電機大学での情報	
学 年	1 年生
学部／研究科	未来科学部
学科・学系／専攻	ロボット・メカトロニクス学科
研修期間	2021 年 2 月 1 日 ～ 2021 年 2 月 日

研修先情報	
大学・機関名	東京電機大学
国名	日本

研修に参加したきっかけ
UNIPA の掲示

研修参加の目的
英語によるコミュニケーション力の上達

研修内容（できるだけ詳しく記入してください）

研修を通して得たもの

今後の学習計画

プログラムに関する要望等あれば（研修時期・内容等）

以上